

日本地球電気磁気学会会報(第74号)

1977年5月25日

日本地球電気磁気学会
連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16(〒113)
東京大学理学部地球物理学教室内
電話 03-812-2111 (内線6476)

I 第61回総会ならびに講演会

第61回総会ならびに講演会は、5月11日～14日の4日間、国立極地研究所のお世話により、東京都板橋区立産業文化会館で開かれました。13日午後には、永田 武会員による「やまと隕石」についての特別講演の後、恩藤忠典会員と議長として、下記のような次第で総会が開かれました。

- (1) 開会の辞 (平沢運営委員)
- (2) 議長選出 (恩藤会員)
- (3) 大会委員長挨拶 (永田会員)
- (4) 運営委員会報告 (荒木運営委員)
- (5) 田中館賞授与

第72号 荒木 徹会員

磁気嵐急始部の汎世界的構造に関する研究

- (6) 田中館賞審査報告
- (7) 学会委員長挨拶
- (8) 議 事
 - (イ) 昭和51年度決算
 - (ロ) 昭和52年度予算

(イ)、(ロ)について、佐藤運営委員より説明があり、原案通り承認されました。

(ハ) 名誉会員の推薦

前田委員長より、前田憲一、加藤愛雄、関戸弥太郎3会員の永年にわたる学会への寄与と学問的功績をたたえて名誉会員に推薦したいとの発言があり、全員の拍手で承認されました。

(ニ) 次期開催地(京都)の確認

議長より昨年秋の総会で提案された通り京都での開催を確認したいとの発言があり、多数の参加をお待ちするとの返事が木村会員よりありました。

(ホ) 次々期開催地の提案

平沢会員より、第63回総会および講演会を東大理学部にお世話に願いたいとの提案があり、東大理学部を代表して、小嶋会員から了承したとの発言がありました。

(9) 謝 辞

参加者を代表して広野会員から、今回の総会と講演会をお世話下さった極地研究所の方々に謝辞が述べられました。

(10) 閉会の辞(議長)

II 新 入 会 員

前回総会以後、下記の方々が入会され国内会員総数471名となりました。

天野 要(北大工)

竹内 郁夫(詫間工業高専)

家森 俊彦(京大理)

富田二三夫(東北大理)

井口 俊夫(東大宇宙研)

兵頭 政幸(神大理)

倉橋 嘉信(神大理)

三浦 悟(東北大理)

小寺 邦信（甲南大理）

三浦 俊一（東北大理）

佐々木 徹（東北大理）

三木 弘之（神大理）

竹田 雅彦（京大理）

R.G.Rastogi（インド）（外国会員）

Ⅲ 昭和51年度決算および昭和52年度予算

総会で承認された決算と予算は下表の通りです。

昭和51年度決算	
収入の部	支出の部
正会員会費 1,598,500	会誌発行費 2,105,000
学生会員会費 56,500	会誌発送費 172,360
予稿集売上金 703,500	会報印刷費 79,830
利子収入 188,908	予稿集印刷費 415,780
出版助成金 1,680,000	業務委託費 486,430
前期繰越金 3,314,394	総会費 361,610
合計 7,541,802	選挙関係費 48,080
	田中館賞関係費 10,540
	会合費 22,000
	通信費 166,830
	雑費 17,982
	次期繰越金 3,655,360
	合計 7,541,802

昭和52年度予算	
収入の部*	支出の部
正会員会費 1,652,000	会誌発行費* 480,000
学生会員会費 112,500	会誌発送費 200,000
予稿集売上金 700,000	会報印刷費 100,000
利子収入 200,000	予稿集印刷費 550,000
前期繰込金 3,655,360	業務委託費 720,000
合計 6,319,860	総会費 350,000
	会合費 40,000
	通信費 200,000
	雑費 24,500
	次期繰越金 3,655,360
	合計 6,319,860
	（*出版助成金を除く）

52年度予算は一応収支差引きゼロとして組んでありますが、業務委託費、会誌契約外部数^{**}の増加、その他諸物価の値上りにより赤字になるおそれがあります。運営委員会ではその対策に苦慮していますが、会員皆様もお考え下さるようお願いいたします。

(**今まで、会員への配布用としてJGG450部を学会誌刊行センターから受取っていましたが、会員数増加のため、450部を越える分については7,200円/部のお金を支払わなければなりません。)

Ⅳ 第62回総会ならびに講演会について

秋の学会は、京都大学のお世話により下記の通り開かれます。

- (1) 期 日 昭和52年11月8日(火)～11日(金)
- (2) 会 場 京都府立勤労会館
- (3) 講演申込〆切および宛先

9月20日(火)

〒812 福岡市東区箱崎3576 九州大学理学部物理学教室

北 村 泰 一 宛

〆切に遅れて到着したものは、受けつけませんので御注意下さい。

Ⅴ そ の 他

- (1) 学生会員継続手続きの簡素化

今まで学生会員継続の有資格者には、継続手続き用紙を学会から送って手続きを促していましたが、事務の簡素化のためにこれをやめます。学会会員継続希望者は春の講演会終了時まで自ら手続きをして下さい。忘れると正会員の会費を払わなければなりません。(昭和53年度から実施)

します。)

(2) 会員滞納者への会誌送付停止

2年以上の会費滞納者にはJGGの送付を停止しますので御注意下さい。

2年以下の滞納者は早急に会費を支払って下さい。

(3) 田中館賞基金の運用について

永田 武会員還暦記念事業会から田中館賞維持基金として寄付された50万円の用途については、「元金は保存し、利益を学会会計に繰り入れて田中館賞の運用にあてる」(会報第69号)ことにしていましたが、今後は、元金利息共に学会会計とは別枠の特別会計「田中館賞基金」として運用することになりました。

(4) 第10回月・惑星シンポジウムのお知らせ

期 日 1977年7月7日(木), 8日(金), 9日(土)

場 所 東京大学宇宙航空研究所講堂

講演を希望される方は講演者(所属・身分), 題目, 講演要旨(400字以内)を5月28日(土)までに下記世話人のところへお届け下さい。

〒153 東京都目黒区駒場4-6-1

東京大学宇宙航空研究所 清水幹夫

電話 03-467-111 内440または495

(5) 松永記念科学振興財団より松永賞候補者推薦用紙がきております。必要な方は学会事務所まで御連絡下さい。

1977年8月22日～9月3日，米国シアトル市で開催される IAGA / IAMAP Joint Assembly の Third Circular (Registration Form および大学宿舎利用申込用紙付) がまとめて届いています。本年3月以前に米国においてサーキュラー送付希望を申出られた方にもこちらからお配りしています。まだ残部がありますので，候入用の方は御申出下さい。

連絡先：東京大学理学部地球物理研究施設 福 島 直